

ふな状た



No.176
30年/10

発行：山形県舟形町議会
平成30年10月26日



豪雨災害にも負けず若鮎まつりを開催

8月臨時会・9月定例会・10月臨時会・質疑応答	2 P
決算審査特別委員会・監査意見書	5 P
決算審査特別委員会質疑応答	6 P
町政を問う 一般質問に5議員	8 P
請願・陳情審査結果	14 P
議会報モニターより	16 P
議会活動	18 P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20 P



町内外の子どもたちに人気の鮎つかみどり大会



想定外の災害により冠水した 役場本庁舎地下ピロティ

町長 6日未明、本町通りの流雪溝から越水した水が地下ピロティに流入しました。町内の見回りから帰還した職員が流入を発見し、地下ピロティに駐車していた公用車6台のうち2台を外まで移動しましたが、他4台は水流入の勢いが速く危険だったため移動ができません状態でした。
今回の想定外の事態を教訓として、庁舎の防災対策を検討していきます。

議員 この度の豪雨災害で公用車4台が水没したが、防ぐことはできなかったのか。

平成30年度一般会計補正予算の専決処分の承認

第3回臨時会

質疑応答

地域整備課長 今回の農地等の被害状況については、住民の方から連絡を受け、担当職員が現地確認を行なっています。災害箇所の把握もれがないよう引き続き聞き取りをするとともに、地区ごとに農地等の災害に関する相談会の開催も考えています。

議員 災害の被害状況の把握を、町ではどのように行なっているか。

平成30年度一般会計補正予算

9月定例会

議員 小規模災害について町の対応は。

町長 40万円以上の大規模な災害等については町で調査し、40万円以下の小規模な災害等については調査を進め、県単独の補助制度の活用や町単独での対応も考えています。

議員 教育寄付金25万円の内容は。

総務課長 舟形中学校の野球部へ、大場輝美氏より寄付していただいたものです。

第3回臨時会 8月24日
9月定例会 9月5日～12日
第4回臨時会 10月2日

平成29年度決算を認定
総額76億961万円

9月定例会は、8日間の日程で開催し、5人の一般質問に続き、29年度各会計決算7件、30年度各会計補正予算5件等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

平成30年度 主な補正予算

- 財政調整基金積立金…………… 1億1591万円
※財政調整基金とは、年度間の財源不足に備えるため決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金です。
- 総合保健福祉施設整備に向けた地質調査委託料 717万円
(保健センター移築のための地質調査)
- 産地パワーアップ事業費補助金…………… 2422万円
- 生活道路整備費補助金…………… 400万円
(生活道路除雪に向けた路盤整備)
- 縄文の女神フランス展示会セレモニー参加旅費 222万円
- 農業用施設災害復旧事業費…………… 2億5542万円
(農地84箇所、水路13箇所、農道21箇所等)
- 公共施設等災害復旧事業費…………… 2億1635万円
(役場本庁舎空調設備工事、河川公園復旧工事等)
- 公共土木施設災害復旧事業費…………… 2億80万円
(河川5箇所、道路31箇所等)
- 農業用施設災害復旧支援事業費…………… 8660万円
(農地184箇所、水路23箇所、農道8箇所等)
- 林道施設災害復旧事業費…………… 7310万円
(林道34箇所等)
- 大雨・高温渇水被害対策事業…………… 810万円

主な審議された議案

- 第3回臨時会
- 平成30年度一般会計補正予算(第2号)
 - 平成30年度一般会計補正予算(第3号)
 - 消防団新基準活動服の取得に係る物件購入契約の締結(相手方・服装エグチ有限公司)
- 9月定例会
- 損害賠償額の決定についての専決処分の承認
 - 平成30年度一般会計補正予算(第4号)
 - 平成30年度各会計補正予算3件
 - 平成30年度一般会計補正予算(第5号)
 - 教育委員の任命
 - 平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
 - 平成29年度各会計決算の認定7件
 - 政策提言書の提出
- 第4回臨時会
- 平成30年度一般会計補正予算(第6号)
 - 平成30年度役場本庁舎空調設備工事請負契約の締結(相手方・弘栄設備工業株式会社)
 - 8月5日からの豪雨による災害に係る復旧への支援要望書の提出



多くの農地が冠水した今回の豪雨災害

議員 地域交流センター管理費(富長交流センター)、工事請負費で446万円減額となっているが、内容は。

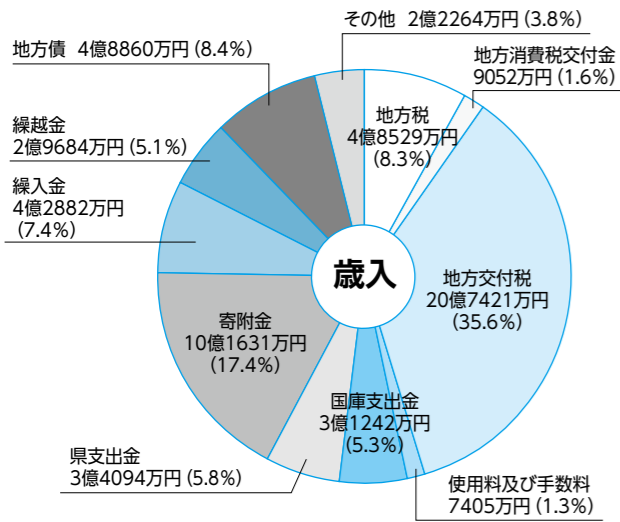
まちづくり課長 当初の内容として、体育館の屋根と渡り廊下の屋根の塗装等を予定していましたが、今年度に再度設計作業を行なったところ、屋根の腐食状況が顕著に進んでいたということがありました。今回の災害や施設の長寿命化ということもあって、工法を見直して再度検討するために、今回の補正で工事費を全額減額しました。

議員 移住世帯向け食の支援事業の内容は。

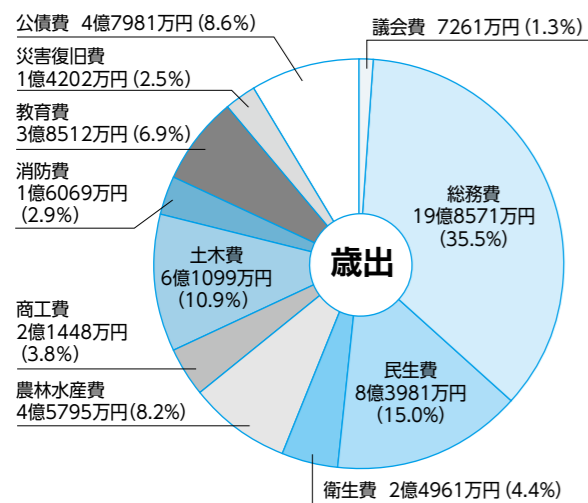
まちづくり課長 この事業は町への移住促進のために、県外からの移住世帯(転勤や進学等の移動ではない)に対して1年間、米、味噌、醤油を支給する事業です。

一般会計

歳入 (58億3064万円)



歳出 (55億9880万円)



歳入歳出差引額 2億3184万円

水道事業会計が現年度より公営企業会計に移行し、財務諸表が提出され、経営状況の厳しさを目的の当たりにしました。800万円ほどの使用料未済額の回収と共に、平成9年度に改正したままの料金の値上げの検討も必要と思われまます。

終わりに、少子高齢化の現在、町職員は若返っており、職員一人ひとりが既存の考えにとらわれないことな、自らの考えで、新しい発想、創意工夫に取り組み職務を遂行してまいります。

固定資産税の 不能欠損の対策を



佐藤 勇 委員長

決算審査特別委員会

平成29年度決算審査は、会期中の9月6日から11日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に佐藤勇（議会広報常任委員長）、副委員長に加藤憲彦（議会運営委員長）を選任し、一般会計、5特別会計、水道事業会計を慎重に審査しました。

特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	8億2164万円	7億6966万円
後期高齢者医療事業	7040万円	6885万円
介護保険事業	7億6959万円	7億4016万円
農業集落排水事業	2億3985万円	2億3637万円
公共下水道事業	2億200万円	1億9577万円
合計	21億348万円	20億1081万円

水道会計

	歳入	歳出
水道事業 収益的収支	2億2427万円	2億848万円
水道事業 資本的収支	3億3480万円	3億7034万円

収益的 ※水道水を作り、各家庭へ届けるための費用。
資本的 ※水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

監査意見書

渡邊 敬子 代表監査委員

決算関係書類を審査した結果、決算計数はいずれも符合し、誤りの無いことを確認しました。また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正であり各項目とも基準を下回り、財政は健全であると認められました。現年度収入未済額及び滞納繰越分計4038万円は、前年度比22.6%減で収納努力は評価するところですが、固定資産の相続放棄による固定資産税の不納欠損が増え、空き家問題と共に新たな検討が必要と思われまます。

ふるさと応援寄付金は10億855万円に達し、一般会計歳入決算額の17.3%を占め、各事業の予算に繰入され町民に与えた潤いは多大なものであり、さらなる継続を期待するところとす。

水道事業会計が現年度より公営企業会計に移行し、財務諸表が提出され、経営状況の厳しさを目的の当たりにしました。800万円ほどの使用料未済額の回収と共に、平成9年度に改正したままの料金の値上げの検討も必要と思われまます。

終わりに、少子高齢化の現在、町職員は若返っており、職員一人ひとりが既存の考えにとらわれないことな、自らの考えで、新しい発想、創意工夫に取り組み職務を遂行してまいります。



老朽化が著しい第2庁舎

議員 子どもの未来祝福事業の内容は。

住民税課長 婚姻した方で舟形に住所を有する方にお祝い品として夫婦箸を贈呈していますが、今後はより舟形らしいものとして、縄文の女神をモチーフにした箸置きを贈呈します。

議員 総合保健福祉施設（仮称）整備事業の今回予算化された内容は。

健康福祉課長 第2庁舎は耐震補強工事ができない構造になっているため、保健センターに現在第2庁舎に配置されている地域整備課と農業振興課を移転する考えがあり、保健センターに代わる新たな総合保健福祉施設（仮称）のハリヨ地区（舟形小付近）への建設を検討するための調査費用、基本計画の業務委託、地質調査等の費用です。

議員 雪交流事業の内容と委託先は。

まちづくり課長 都市と農村の交流事業に関する地域等との関係を深めることを目的に、来年度に向け、港区、世田谷区等で開催されるイベント等に雪を持ち込み、雪に触れていただく事業です。委託先は、今後決定していきたいと思ひます。

議員 生活道路整備事業で400万円計上した箇所数と、申請はいつまですればいいののか。

地域整備課長 今回の補正内容は2地区です。申請は通年で行なっていますが、雪が降ってからはできないので、なるべく早く申請していただきたいと思ひます。

水道事業会計補正予算

議員 水道事業で災害による損失として1210万円計上しているが、その内容は。

地域整備課長 8月5〜6日の災害で舟形、松山配水池の落雷による被害、及び町道、県道に埋設された水道管の修復工事です。



小国川の氾濫により決壊した十二河原公園迂回道路

平成30年度一般会計補正予算

議員 河川公園として使用の契約はどうなっているのか。地域住民が河川を活用しているのに、災害時には県からの負担は期待できないのか。

地域整備課長 河川敷の占用契約は10年ごとに継続しています。河川の護岸については県が復旧しますが、駐車場や遊具等の被災については町の負担になります。

議員 歳入での町債1億4320万円について、国県から何割補てんされるのか。

財政係長 公共施設等災害復旧事業の※起債であり、交付税算入率は約6割の見込みです。

※起債とは…町が事業を行うために借り入れること。

質 答 疑 答

一般会計 歳入

議員 ふるさと応援寄付金が平成29年度は10億円を超えたが、返礼割合はどの程度だったのか。また、国の指導により返礼割合が3割となることにより、寄付額が減ることが予想されるが、その対応は。

総務課長 返礼品が一番多いのが舟形産米で、返礼割合は5割程度でした。今後、返礼割合が引き下がることにより、件数、金額が減少することが予想されますが、きめ細やかな対応により、減少幅を抑制していきます。



返礼品として一番多い舟形の米

議員 本庁舎内にwifiを設置する検討が必要と思うが、検討や話し合いをした経過はあるのか。

まちづくり課長 観光物産センターめがみ（舟形駅）、若あゆ温泉については設置をしましたが、本庁舎に関しては検討していません。今後、各課と協議しながら検討します。

議員 結婚祝い金は現在10万円を2年に分割し支給しているが、定住人口を増やすためにも30万円以上とし、長期に支給してはどうか。

まちづくり課長 次年度に予定している制度改正において、意見を参考にしながら十分検討します。

議員 各種検診事業で検診料が前年度より500万円ほど少なくなっているが、その内容は。

健康福祉課長 乳がん、子宮がん検診は1年おきに実施しており、平成29年度は実施していないからです。

議員 斎場使用料を歳入に計上しているが、費用負担割合で舟形町1120万円、大蔵村890万円の算出方法は。

住民税務課長 斎場運営費の支出済額から利用者からいただいた斎場使用料を引き、残りの金額を平等割（40％）人口割（30％）財政力割（30％）で算出しています。

議員 町税の未収金は前年度より減っているが、どのような回収策を行なったのか。

住民税務課長 未納者への面談と相談を強化し、具体的な支払いの実施と差し押さえ等も行い、回収に努めました。

議員 不動産売却収入が計上されているが、その内容は。また、町所有の住宅に長く住んでいる方に売り払う考えはないのか。

総務課長 ひだまり団地一区画、内山団地一区画の売り払い金額です。後段の質問については、今後検討したいと思います。

議員 たばこ税が当初予算より多くなっているが、町の姿勢として健康面から考慮すれば、禁煙、受動喫煙等に対して対策を講じる必要があると思うが、町の考えは。

健康福祉課長 庁舎内禁煙、さらに町民の健康が一番大切であることから禁煙と分煙を進めていきます。

歳出

議員 住居リフォーム補助金の件数に県補助金と町補助金に差異があるが、その理由と要綱の見直しを行う考えはないのか。

議員 体験実習館管理運営事業で、平成28年度利用者数より平成29年度は320人ほど減少している。成果として宿泊者の増加と交流人口の拡大が図られたとあるが、どのような検証をしたのか。

まちづくり課長 町内の宿泊者数は前年並み、日帰り客数が30％減少となりましたが、町外、県外の利用者が日帰りで150人、宿泊で120人増になっており、有効に活用されていると判断しました。

地域整備課長 町の住居リフォーム補助金の要綱に町の業者による施工とあるので、該当しない件数が6件ありました。要綱の見直しについては検討したいと思います。



一年間の活動報告をする長江隊員

議員 町づくり推進費の資金で、不用額が350万円ほど出ているが、どの事業で、発生の要因は何か。

まちづくり課長 地域おこし協力隊事業で、当初1名増を予定していましたが、採用がなかったための不用額です。

議員 松くい虫防除委託料33万円の委託先は。また、防除は毎年行うのか。

農業振興課長 委託先は最上広域森林組合です。今年も実施しました。樹幹に薬剤を注入する手法で、5年間効果があるとのこと。3年間ぐらいいは実施しなくても良いと思っています。

議員 鳥獣被害対策実施隊員の活動状況は。

農業振興課長 29年度に有害鳥獣駆除技術の講習・研修を受け、29年度はクマ5頭、イノシシ8頭、野うさぎ4羽、30年度は現在までクマ9頭、イノシシ2頭の実績となっています。

議員 日本一の給食食育推進事業で、つや姫を使用していたのに、なぜはえぬきに変更したのか。その理由は。

教育課長 29年度は4月から9月までの6か月間つや姫を提供していましたが、価格差が大きいため、はえぬきに変更しました。

議員 私立高校である新庄東高校の体育館建設費負担金67万円を支払うことになった経緯は。

町長 私立高校ではありませんが、最上地域の子どもたちが多く通う高校なので、最上地方町村会の決定で市町村負担金として支出をしています。



親子でワクワク陶芸教室 in 実習館



奥山 謙三 議員

町民に寄り添った除雪対策を

自助、共助、公助の役割分担しながら、除雪施策を推進する



雪下ろし体験ツアーの排雪活動

質問 町で行なっている主な除雪施策は、①地域支え合い除排雪活動支援交付金 ②高齢者等世帯等除雪サービス事業 ③生活道路整備事業 ④除雪対策事業など、公助による支援は充実していることがうかがえます。また、共助による地域支え合いの除雪活動組織も増えており、心強く感じています。今シーズンの

町長 ①地域支え合い除排雪活動支援交付金の平成29年度実績は、除雪機無償貸与は2地区で除雪作業延べ日数112日、降雪を前に、町では、自助、共助、公助の役割についてどのよう進めていくのか、また、町で考えている新たな除雪対策の内容について質問します。

除雪機貸与なしは15地区で除雪延べ日数307日の活動となりました。住民同士の支え合いの意識醸成、体制の組織化による効率的な対応が図られたと考えています。

町長 担当課と要綱の見直しについて協議を行い、実施できるようにします。

質問 除雪における、自助、共助、公助の役割分担について、町長の思いを聞きたい。

シーズンの安全除雪を頼むよ！（前年の安全祈願祭）

④除雪対策事業は、29年度は豪雪により膨大な除雪経費で1億8546万円掛かりました。今年度は小型ロータリー除雪機1台増車により、効率的に作業できるよう除雪計画の策定を行います。最後に、自助、共助、公助の役割を分担しながら、現在行なっている主

質問 地域支え合い除排雪活動支援交付金について、豪雪対策本部が設置されたシーズンは、支援交付金の増額を検討できないか。

町長 基本は自助ですが、高齢化等を考慮すると公助の負担が増える面もありますが、地域支え合い組織を増やし共助による活動を強化していきたいと考えています。

町政を問う

一般質問に5人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

9ページ

- 1 町民に寄り添った除雪対策を

伊藤 欽一 議員

12ページ

- 1 交通事故防止の取り組みを早急に
- 2 土砂災害発生の防止対策を的確に

斎藤 好彦 議員

10ページ

- 1 想定外の災害にどう対応すべきか
- 2 増加する認知症対策は万全か

佐藤 広幸 議員

13ページ

- 1 舟形診療所の今後を問う

石山 和春 議員

11ページ

- 1 サービス付き高齢者向け住宅の検討は

※ 紙面の都合により、質問は1人2問までの内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



稲刈りを待つ場と若あゆ温泉を望む堤峰展望場からの景観（経壇原）



石山 和春 議員

サービス付き高齢者向け住宅の検討は 関係機関と意見交換をしながら具体的に検討したい



冬期間満床状態の生活支援センター「ゆいの家」

【質問】 舟形町総合戦略は、平成31年を計画目標年としています。
この中で、サービス付き高齢者向け住宅等を中心とした生涯のまち構想の事業化への検討について言及しています。
今年度の町主要事業概要に地域包括ケアシステムの構築が明記され、住み慣れた地域で安心して

生活できるような地域におけるネットワークを構築するというものです。
介護認定はないものの自立した生活に不安を感じている方もいらっしゃると思います。早期に舟形版CCRCを検討すべきと考えますが、町長の考えを伺います。
また、サービス付き高齢者向け住宅については、

「ゆいの家」の需要状況を参考に検討したいとこれまで答弁していますが、どのような検討がなされたのか伺います。

【町長】 サービス付き高齢者向け住宅は、主に民間の事業者が運営するパリアフリー対応の賃貸住宅で、自立の方から軽度の要介護度の高齢者も受け入れます。高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることを実現する「地域包括ケアシステム」拡充の施策として、2011年に創設され、最近では重度の高齢者の方も受け入れ可能な施設も増えています。利用の幅が広がっています。

第7期介護保険事業計画策定を目的に平成28年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、「サービス付き高齢者向け住宅が当町に必要ですか」という設問に、回答者1643名中、「早急に必要」が233名(14.2%)、「いずれ必要」が1034名

(62.9%)いて関心の高さをうかがい知ることができま。本町には、サービス付き高齢者向け住宅と類似する「ゆいの家」がありますが、利用者がほぼ冬期間に集中し満床状態であることから、サービス付き高齢者向け住宅の整備は地域包括ケアシステムを考える上でも重要な施策と捉え、社会福祉法人や

けた意見交換から始めていきたいと思。また、CCRCについては、地方に移住したい高齢者を対象とした事業を優先する前に、今住んでいる高齢者の方々がこれからもずっと住み続けていただくための施策としてのサービス付き高齢者向け住宅の整備を考えています。
※CCRC：高齢者が健康なうちに入居し、終身で過ごすことが可能な生活共同体。



需要が高まっている高齢者向け住宅（視察）



齋藤 好彦 議員

想定外の災害にどう対応すべきか 対応状況を総括し改善策を講ずる



通行不能になった農道

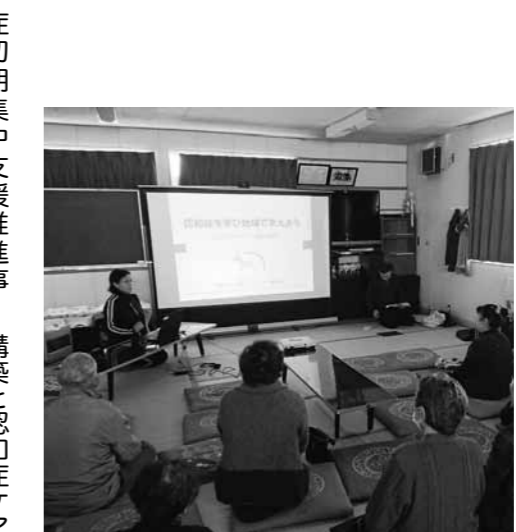
【質問】 先月の最上・庄内地域を襲った記録的な豪雨は、町内各地に甚大な被害を及ぼす事態となつてしまいました。幸い人的被害が無かつたものの、当時、多くの住民が自宅や避難所で不安な時間を過ごしたものと推測いたします。町民の生命と財産を守る責任のある町長として、今般の町内全域

に及ぼした想定外の災害の教訓を、今後の舟形町防災計画にどのように反映させ対処し「安全・安心」のまちづくりに努める考えなのか伺います。

【町長】 町では、平成26年3月に『安心して住める環境づくり』を基本理念とする舟形町防災計画を策定し、①『災害に強いまちづくり』②『災害に強いひとづくり』③『災害に強い体制づくり』の3点を基本目標に掲げ取り組んでいます。この度の豪雨災害は、まさしく想定外の災害であつたと認識していますが、これを教訓として、改めて、

全庁的にこの度の豪雨災害に対する町としての対応状況を総括し、反省すべき点や見直しが必要

点については、町防災計画に適切に反映し、改善策を講じていきたいと考えています。
増加する認知症対策は万全か
早期かつ適切な対応に努める



認知症サポーター養成講座

【質問】 認知症高齢者の数が増加傾向にある中、本町では国家戦略としての「認知症施策推進総合戦略」に基づき「認知症集中支援推進事業」「認知症地域支援・ケア向上推進事業」に取り組んでいますが、現状と取り組み状況について伺います。

症初期集中支援推進事業」は、早期診断・早期対応のための専門チームとして、認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに配置し、認知症サポーター医の新庄明和病院医師と必要な研修を受けた保健師3名で取り組んでいます。
また、「認知症地域支援・ケア向上事業」は、地域における支援体制の

構築と認知症ケアの向上を目的に、認知症ケアパズルの配布や認知症力フェの開催、認知症地域支援員の配置・養成などを行なっています。
認知症対策には、家族や地域の人の理解と早期かつ適切な対応が必要であり、今後も国や県の施策を参考に必要な取り組みを実施していきます。



佐藤 広幸 議員

診療所の今後の見通しは

新しい医師が開業できるように努力します



新しい医師がきてくれることを願いたい

【質問】 舟形診療所は公設民営という形で、長年にわたり町民の健康維持のため、無くてはならない医療機関として活躍してきました。

しかし、診療所を運営する原田先生がやめるのではないかと、町民の間で不安と動揺が広がっています。今後の診療体制

を含め、どのような形で身近にある医療体制を構築していくのか質問します。

【町長】 舟形診療所は、町と医師である原田政雄氏との間で交わされた公設民営方式に係る合意書に基づき、平成5年4月に開業した診療所です。原田先生には、診療所

の医師として26年間の長きにわたり、地域医療の推進や町民の健康増進にご尽力いただき、深く感謝しているところです。

ところが、原田先生が2月に来庁され今年12月31日で診療所を閉鎖し、平成31年3月31日までに診療所の引き渡しを行いたいとの話をされてきました。

突然のことであり、後任の医師が決まるまで継続をお願いしましたが、原田先生の意思は堅いようでした。

舟形診療所は、町民の健康と福祉を考える上で、無くてはならない必要不可欠な存在です。そのため、平成31年4月1日以降できるだけ早い時期に後任の医師が開業できるように努力していきます。



原田先生 25年間ありがとうございました。

【質問】 「後任の医師が開業できるように努力する」と答弁しているが、新しい医師の候補者はいるのか。

また患者のカルテや町の購入した備品、原田先生の購入した備品などの取り扱いの整理できているのか。

開業の候補地に舟形町も入れてもらえないか、お願いしています。何とか舟形町に開業していただくように努力していきます。カルテや備品については現在調査、整理を行なっています。



最上町方面へ直進と錯覚するT字路交差点

【質問】 亀割バイパスと県道56号の交差点(野地内)で、夜間になると「止まれ」の標識が見えにくく、何件か事故が発生しているとの話を聞き、駐在所に確認したところ、警察でも事故多発箇所としていました。自光式標識に変える等の改善が必要だと思います。また、町内の路面状況、横断歩道や停止線などを早急に確認す

るなど、交通安全の対策が必要と思いますが、町長の考えを伺います。

【町長】 舟形町での事故発生件数は、今年8月14日現在で14件と昨年より3件増加しています。ご指摘の交差点については、平成29年1月以降人身事故はありませんが、舟形町駐在所の森所長さんによれば、事故多発箇所ということですので、新庄警察署ならびに公安委員会へ標識の改善を要望します。また、他の路線についても、今年、事故が発生した箇所の現場を確認するなどし、その結果を踏まえ必要な対策を講じるよう、関係機関に働きかけます。その他、高齢者先進安全自動車購入補助金の活用、町民が事

故を起こさない、事故に遭わないよう交通安全の啓蒙活動の推進をしていきます。

【質問】 8月5日から6日にかけての豪雨で、当町でも河川の増水により家屋等の浸水、農地の流失、土砂崩れ等甚大な被害が発生しました。人家の上流に設置されている砂防堰堤が、堆積土砂で満砂になり、倒木等が流水をせき止めたりと、また災害が発生する危険があると思われる箇所がありました。二次災害発生を未然に防止する対処が必要だと思いますが、町長の考

えを伺います。

【町長】 本町に整備されている堰堤は、砂防堰堤が30基、治山堰堤が20基で、人家の上流に設置されている堰堤は11基あります。また、住民からの情報提供で、山腹からの土砂流出や倒木により満砂状態となっている堰堤がある」と報告を受け、現地確認し県に報告した箇所もあ

ります。砂防、治山堰堤にはそれぞれの目的がありますが、西日本災害において堰堤の果たす役割を見直すという話を聞いています。今後、土砂災害による被害を最小限に食い止めることが重要で、満砂状態や流木等で危険な状況にある堰堤については、早急な対策を講ずるよう県に強く要望します。



倒木が著しく土砂で満杯状態の水上沢砂防堰堤上流(長尾町内)



伊藤 欽一 議員

交通事故防止の取り組みを早急に

標識等の改善を関係機関へ要望

請願・陳情

9月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

●日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

採択

請願者 生活協同組合共立社新庄生協
地域理事会 議長 岸 昌子

2017年7月7日国連において、日本をのぞく122か国の賛成によって「核兵器禁止条約」が採択され、同年12月10日には、核兵器廃絶国連キャンペーン「ICAN」にノーベル平和賞が授与されました。今国際社会は核抑止力ではなく、核兵器廃絶による平和構築に大きく前進しています。唯一の戦争被爆国である日本は、被爆者の「原爆をなくしてほしい」という痛切な願いに応え、国際社会において核兵器廃絶の先頭に立つ責任があります。「核兵器禁止条約」は、核兵器の法的禁止内容を定め、加盟国に核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵などの禁止を義務付け、使用の威嚇も禁じている画期的な条約です。日本政府の日頃の平和政策には敬意を表すところですが、より一層の実効性のある「核兵器禁止条約」にただちに賛成し、署名・批准すべきです。「核なき世界」の実現は、被爆者、日本国民、そして全世界の市民の切なる願いであり、舟形町においても「平和都市宣言」を制定しています。地球上から核兵器をなくすところこそ、唯一の平和への道であることを信じ、私たちは、日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを強く求めます。

議員発表

●政策提言書の提出

9月12日、舟形町議会が、全議員の総意として、政策提言書を町に提出しました。

(趣旨)

人口減少や少子高齢化が喫緊の課題となる中、第6次総合発展計画並びに「舟形町まち・ひと・しごと総合戦略」に沿って施策が展開されている。舟形町議会としては、平成29年度決算の審議や所管事務調査等を踏まえ、次のとおりまとめたので政策提言する。
町民にとって住みよいまちづくりを目指して、安全・安心な地域環境を創設し、将来にわたって活力ある地域づくりや、定住人口を増やすための様々な施策をもって努力をされるよう、そして本提言が次年度以降の予算に具体的に反映されるよう望むものである。



反対討論、賛成討論がありました。賛成多数により、採択となりました。

反対討論

核兵器の無い国際社会の実現を願う気持ちは私も同じです。

しかし、日本の周囲では中国や北朝鮮、ロシアが核を保有し、その脅威が実際に現実的にあります。その脅威から日本を守っているのは米国が提供する「核の傘」であり、それを弱めることにつながるこの条約には簡単に賛成と言えないものではないと考えます。

国際社会の中で、日本政府は難しい舵取りを続けていく以外に道は無い状況にある中で、町議会は請願書採択して政治的圧力を政府にかけるべきではないと考えます。

賛成討論

私は、本事業に賛成いたします。

私は、「核の傘」などは現実的に存在しないし、確実に保障されるものではないと思っています。唯一の被爆国として、核のある世界には住みたくない、国民一人一人が、力強く発信すべきであり、核兵器廃絶の先頭に立つ責任があると思います。

また、「舟形町平和都市宣言」の条文では、「我々は世界唯一の被爆国民として、平和憲法の精神に基づき、核兵器の廃絶を強く訴えるものである」とも謳われています。
以上ことから、平和で明るい世界実現のため、本事業に賛成いたします。

提言1 町経済の根幹を成す、産業活性化について

1. ブランド米・ふながた米の確立を図り、付加価値を高め有利販売に繋げること。
2. 生産法人・グループ営業・地域共同組織等の推進を行い、組織農業により営農の継続性と圃場整備を全町で進めること。
3. 女性・退職者等への就農支援の強化を図ること。
4. 商工業振興施策を具現化し、商店等の支援に努めること。

提言2 安全・安心・住みよいまちづくりについて

1. 生活道も含めた除雪支援の拡充と、町道等の除雪対策の充実、強化を図ること。
2. 流雪溝の整備促進を行うこと。
3. 全町内会で自主防災組織の立上げと、支援の充実を行い、避難訓練を毎年実施するように進めること。
4. 空き家の有効活用、危険空き家の除却を進めること、および地域と町が連携して対応できる体制の構築を図ること。

提言3 観光振興を通じた交流人口増加策について

1. 縄文の女神を活用した観光の創設を行うこと。
2. 都市交流を軸とした交流人口の増加を図ること。
3. 若あゆ温泉への宿泊施設の整備検討を進めること。
4. 道の駅構想について、整備検討を進めること。

●種子法廃止に伴う万全の対策を求める陳情

採択

陳情者 農民運動山形県連合会
会長 小林 茂樹
最北地方農民連
会長 二戸 正

先の通常国会で主要農作物種子法(種子法)廃止法が成立しました。

種子法は、国や都道府県の種子に対する公的役割を明確にした世界に誇るべきものであり、同法のもとで、稲・麦・大豆の原種・原原種の生産、優良品種(奨励品種)指定のための検査などを義務付けることにより、都道府県と農業協同組合が協力し、地域にあった優良銘柄を多く開発し、安価に販売するなど、農民の生産・販売活動に大きな役割を果たしてきました。

主要農作物種子法が廃止されたことにより、これまでの種子法に基づいた試験場等の取り組みが後退することがないよう予算措置の確保等、万全な対策が求められています。

あわせて、種子法の廃止で、地域の共有財産である「種子」を民間企業に委ねた場合、改良された新品種に特許がかけられ、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなることが強く懸念されています。

食糧自給率のさらなる低下が不安視されるなか、農家の生産意欲と品質向上への努力に大きな役割を担う「種子」の安定確保は、今後ますます重要になります。

提言4 人口対策、社会環境の整備、教育子育て支援について

1. 急激な少子化に対応するため、子育てに対する経済的支援の更なる充実を図るとともに、保育の充実や小児医療の確保など子育て支援環境の充実を推進すること。
2. 勉学、スポーツ等で優秀な子どもを輩出するため、町独自の施策の推進について検討すること。
3. 高齢者が健康で安心して暮らせる施設として、高齢者支援住宅の建設について早期に進めること。



具体的な政策実現を進めよ

4、議会報を通じて欲しい情報は

- ・議会報というと、全体的に問題点を解決するための質問が多いようです。実際に取り組み、どうなったのかというところまで、わかりやすく記載してはどうか。(図解にする等)
- ・町報と重なる部分があると思うが、この度の記録的短時間大雨による農作物の被害やそれらの復旧への補助等の情報について。
- ・町民が明るく元気に活動している事例。
- ・議会で取り上げた議題についての成果など。

5、議会・町に対する要望、意見等

- ・今回の記録的短時間大雨により、一時堀内地区は孤立した。旧富長小へ抜ける小国川沿いの堤防により何とかなったが、緊急時に備え、もう一本道路の整備を要望する。
- ・町民が健康で生きがいのある生活を送れるような、行政支援の情報が欲しい。
- ・若者が舟形町に定住できるように、企業誘致をしていただきたい。
- ・これから冬にむけて空き家の解体や危険家屋の問題について、引き続き取り組んでほしい。

6、その他

- ・5Pの県大会出場の話題を、曜日を決めて広報で流してはどうか。(赤倉で月に1回~2回、子どもたちの活躍を町民に放送すると聞いたとき、心がほっこりした)
- ・これからもわかりやすい町民目線での紙面づくりをお願いします。
- ・SNSを利用した活動が増えると思うので、SNSを地産品のPR、観光、いじめ対策などに活用できるようになるための職員研修。
- ・第2回臨時会、6月定例会の質疑応答で、議案書が見られないため、議員の質問等をもっとわかりやすく説明していただきたい。
- ・15Pの活動報告が良かった。研修風景などの議員さんの様子が良かった。今後も活動報告や参加行事等も期待します。



また、よろしく
お願いします。

数多くのご意見ありがとうございます。
編集委員会で検討して改善できるところ
から行なっていきたいと考えています。
引き続き、ご意見をお願いします。

「議会だよりふながた」の表紙写真を募集しています。

舟形町議会事務局 電話32-2111 内線251

貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、今年度より町内在住の5の方に議会報モニターを委嘱しています。

今回は、議会だより175号(7月27日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しました。今後とも十分に参考にし、読まれる、伝えられる広報誌編集に役立てていきます。

1、表紙、見出しについて

- ・地域企業14社名を入れても良かったのではないかな。
- ・生徒の生き生きとした様子が伝わってくる。
- ・たいへん見やすくなった。
- ・カメラを手にして、どのようなことをしているのか、説明が詳しくあった方が良い。
- ・中学生のいきいきしている感じが良かった。「仕事に興味がある」といった一瞬が撮られていて良かった。

2、写真の扱い方

- ・裏表紙がカラーなので、17Pの記事もカラーの方が良い。
- ・話題と写真の関連がわかりやすかった。P9~P12までの報告会の写真にもう少し工夫があればと思う。

3、紙面について

- ・2Pの主な事業について、前号(174号)では縦書きでしたが、今号(175号)については横書き。比較すると横書きの方が数字は見やすく、わかりやすいと感じた。
- ・記事の間に空白が多いので、質問や答弁をもっと詳しく書いた方が良い。
- ・13~14Pと編集後記等の字の大きさが違って読みにくい。
- ・WAKU WAKU WORKを町として初めて行ったことで、子どもたちの写真や感想等がもっとあれば良かった。

農業より学ぶ豊かな教育

文教民生常任委員会視察研修

1. 期 日 平成30年7月18日(水)～19日(木)

2. 調査内容(現地視察)

(1) 喜多方市小学校農業科の取り組みについて
①ねらい

- ・豊かな心の育成：農作物は単なる食物ではなく、「いのちあるもの」であり、「人のいのちをつなぐ大切なもの」であることを学習する。
- ・社会性の育成：一連の活動を通して学習を進め、目標に向かって取り組むことの大切さや続けることの意味を理解させ社会性の育成を図っていく。
- ・主体性の育成：栽培する作物については、栽培方法、土壌、天候等について学ぶことが必要であり、疑問点を調べたり指導を受けたりすることが必要となる。主体的な学習意欲や取り組み態度が必然的に育成される。

総合的な学習の時間で35時間確保している。農業の歴史、人間の歴史を次世代に伝えることも重要であると感じた。後継者をつくるためではなく、107名の支援員と共に実践したことが他の教科の中で生きてくるといふことであり、体験活動を重視した教育だと感じた。

※喜多方市小学校農業科：平成18年に国の構造改革特別区域として、内閣総理大臣より喜多方市小学校農業教育特区の認定を受け、小学校に全国初の教科としての「農業科」を設置。現在では「農業科」という教科は廃止となりましたが、「総合的な学習の時間」として市内すべての小学校で「農業科」を実施しています。

読まれる広報誌を目指して

8月20日、宮城県大衡村議会広報広聴常任委員会の方々が、視察研修のため舟形町を訪れました。研修会では、お互いの議会報の編集方法や内容についての説明や意見交換が行われました。相互に情報を交換し合い、交流を深めることができました。

また、今回の災害にあたり、お見舞い金をいただき、ありがとうございました。お見舞い金は、災害復旧のため使わせていただきました。



お互いの議会広報誌を読みながらの研修



来町された大衡村広報広聴委員6名の皆さんと

(2) 会津若松市サービス付き高齢者住宅視察
①セレッソよねだ

事業主体の日本精測株式会社が介護事業部として開設、介護施設、医療施設、地域交流施設、保育園等が一体となった5階建ての複合施設で、離職率が非常に少なく県からの表彰も受けていた。入居資格は、自立型が60才以上から要支援までの方が5階に入居、要介護1から5までの介護型の方が3、4階に入居している。

②アルコート南
住まいとして「サービス付き高齢者住宅(サージュ)」と「小規模多機能型居宅介護事業所」を併設した施設で、医療法人が運営し、入居資格は60才以上で要介護、要支援の認定を受けている方となっている。
〈敷金〉16万8000円
〈家賃・共益費・食事の合計〉14万8000円
制度基準に基づく生活支援サービス費1万9000円の別途負担あり。

両施設とも素晴らしい施設であるが、毎月の家賃や共益費、食事費を含めると、サービス付き高齢者住宅の場合、月々16万円以上の金額が必要である。また、質の良いサービスを提供するには、事業所の規模や職員の経験が必要であり、職場において有給休暇をとるのが当たり前という雰囲気づくりや、福利厚生等を充実させる工夫が必要だと感じた。

議会のしごき

▼7月1日	夏季非常招集訓練
11日	全国議会広報クリニック (11日～12日)
13日	議会報編集委員会
18日	文教民生常任委員会視察研修 (18日～19日)
20日	議会報編集委員会
24日	議会改革特別委員会
27日	えんじゅ庄ふれあい夏まつり
29日	舟形マッシュルーム感謝祭 徳洲苑まつり
▼8月3日	舟形町戦没者追悼式
8日	光生園夏祭り
14日	成人式
16日	全員協議会
20日	大衡村議会広報委員視察研修来町
21日	議会運営委員会
22日	議会改革特別委員会
24日	猿羽根山相撲大会
28日	第3回臨時会
29日	議会運営委員会
29日	中央要望会 (29日～30日)
▼9月5日	9月定例会 (5日～12日)
15日	ほほえみ保育園運動会
18日	舟形町敬老祝賀式
19日	えんじゅ庄敬老祝賀会
27日	ほなみ敬老祝賀会
27日	議会報編集委員会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各地区行事等に参加しています。

全議員で想定外の災害を確認

平成30年8月16日

8月5日から6日まで降り続いた雨により、町内全域で最上小国川等河川や水路などの氾濫、土砂災害が発生したことを受け、議員全員で被害が出た農地や道路を確認しました。

8月29日に県選出の国会議員に「8月5日から豪雨による災害に係る復旧への支援について」の要望書を提出してきました。引き続き、議会としても町と一緒に国、県に早期復旧に向けて働きかけていきます。



町道舟形太郎野線路肩崩落現場

表紙のことば

表紙の写真は、舟形小6年生の太鼓の発表会と、町内外の子どもたちに人気の鮎つかみどり大会の様子です。ふながた若鮎まつりは、平成28年に続き、今年もたいへんな豪雨災害に遭い開催が心配されましたが、消防団や町建設業協会など多くの方々の協力により、無事開催することができたことに感謝いたします。

これからも災害に負けない町づくりに取り組んでいきたいと思えます。

次回の定例会は

12月4日(火)～7日(金)

までの予定です。

どなたでも議会を傍聴することができます。皆さまの傍聴をお待ちしております。



今回は、富田第2の高橋亮太さんと結婚した、最上町出身の麻莉奈(旧姓：佐藤)さんです。
皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで知り合いましたか？

同じ高校の部活の先輩、後輩でした。社会人になり再会することができました。

♥舟形町での生活はどうですか？

富田の消防団の方や地域の方に面倒を見てもらい、楽しく生活しています。

♥舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

良い所 町や地域のイベントなど交流の場がたくさんあるところ。

悪い所 休日や夜間に診てもらえる病院がないところ。

♥舟形町に望むことはありますか？

若い人たちが舟形町を離れ、県外などで働き生活しているという話を、いろんな方より耳にします、なので、舟形町に残りたい！または、舟形町に來たい！と思えるような魅力をもっと発信してもらえたらと思います。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

旧長沢小学校で長沢集学校を運営しています。集学校が開校して一年半、私が舟形に來てから3年近くたちました。お陰様で、多くの町民の方に助けられ、集学校を利用してもらっています。先月にやっと舟形の町民になりました。

集学校では、パソコンやスマートフォンなどに気軽に触れてもらえるように、いろいろな活動をしています。

例えば、これから年賀状シーズンになりますが、今年はパソコンやスマホで作ってみたい、そんな時集学校は無料で何度でもやり方をお教えます。VR体験やドローンの操縦体験もできます。ほかには携帯やインターネット料金の相談なども受け付けています。

子どもたちには、正しいインターネットの使い方やプログラミング技術などが今後必要になってきます。舟形町はITを使うための下地はしっかり整っている、それを少しでも多くの人に手軽に安全に使ってもらえるよう、これからもがんばっていきたいと思います。



長沢集学校校長
甲州 剛 さん
(長尾)

(議会より)
今後もリングローと集学校を、議会として応援していきます。

編集後記

10月2日に大蔵村、最上町舟形町の3町村の交流会、12日には最上8市町村の交流会が行われました。親睦と連携を深めるために、毎年会場を持ち回りで研修と親善グラウンドゴルフ大会が行われています。今回の3町村並びに8市町村の2大会で、ダブル優勝することができました。

今年も日本各地で甚大な災害が多く発生し、多くの方が犠牲になっています。心よりお悔やみ申し上げます。

最上地域においても8月に2度の水害が発生し、過去にない災害が発生しました。全面復旧に向けて、8市町村の連携を更に強め取り組んでいきます。
(佐藤 勇記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 佐藤 勇一
副委員長 伊藤 欽一
委員 奥山 謙和
委員 石山 春文
委員 小国 浩

